

鯖江市の企業に議員行政視察 平成28年10月12日(水)

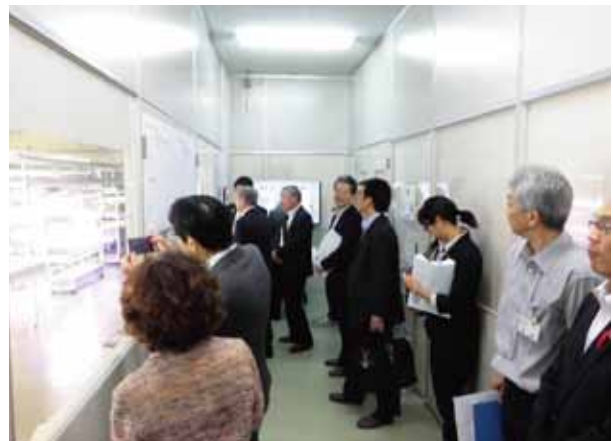
9月定例会において決算特別委員会が設置され、その分科会での審査の際、補助金に関する質疑・答弁があり、市議会としても現場を見る必要があるとの意見がありました。これを受け、企業にもご協力をいただいで現場視察を行いました。



■株式会社シャルマン (鯖江市川去町)

1956年にメガネフレームの部品製造からスタートし、自らの独創技術に磨きをかけ部品メーカーから総合メガネフレームメーカーへと脱皮した。

メガネの加工技術が何故医療に向くのか！ 切る以外すべての加工技術が医療機器と眼鏡には共通している。その観点から医療機器製造に取り組み始めた。堀川会長より説明を受け、工場見学をいたしました。



■タイヨー電子株式会社 (鯖江市平井町)

主要な業務内容は、電子部品の製造加工および販売、電気機械器具の製造販売です。新たな事業でレタスの水耕栽培を行っています。内容は、カリウム含有量の少ない葉菜類を栽培することで、腎臓病透析患者の食生活改善に大いに貢献しています。低カリウム葉菜類は、腎臓透析患者であっても従来より多くの葉菜類の摂取が可能になり、また生食できることで栄養分を効率的に摂取することが可能になります。

特急存続に対する議会のこれまでの動き

北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業されますと、在来線の経営分離やサンダーバード・しらさぎが無くなるなどのデメリットがあります。鯖江市民の利便性確保のため、これらの特急を存続してもらうよう、鯖江市議会として次のような取組を行っています。



「特急サンダーバード・特急しらさぎの存続を実現する会」発足式の写真 鯖江市役所 全員協議会室にて

平成27年12月18日
市会案(特急存続に関する意見書)の可決
平成28年1月7日と8日
福井県ゆかりの国会議員7名に上記意見書を手渡し
平成28年10月18日
特急存続に関する要望書を国会議員に提出
平成28年10月21日
市町議長会議長・県知事に対して要望書
平成28年10月26日
市長・区長会・議長・商工会が県知事・県議会議長に要望書
平成28年10月31日
市、市議会、商工会議所が「特急サンダーバード・特急しらさぎの存続を実現する会」発足
平成28年11月6日
国土交通省鉄道局次長と意見交換

今後の特急存続の在り方について (発足式での今後の要望方針)

- 大阪開業までの間、福井駅まで「特急サンダーバード」を運行
※フリーゲージトレイン(FGT)の開発が遅れているため
- 敦賀駅を終着駅とせず福井まで「特急しらさぎ」を運行
※経営分離同意の前提であった敦賀駅での同一ホーム乗り換えが履行されないため
- JR西日本管轄を運休する米原福井間の「特急しらさぎ」のみ運行
- 米原経由・湖西線経由の大阪方面からの「新快速」を福井駅まで運行
※敦賀駅での同一ホーム乗り換えが履行されていないため

国土交通省 鉄道局の話

平成26年10月から、九州新幹線、新八代、鹿児島本線を繰り返し、60万kmを走行する3モード耐久走行試験を開始したが、車両の一部に微細な磨耗痕等が確認されたことから、走行試験を一時休止した。現在は、改良台車による検証試験を経て走行試験を行う予定をしている。敦賀開業が3年前倒しになったため、FGTの開発が間に合わないこととなった。

敦賀市からの要望では、特急列車は新幹線高架の下での上下乗換で、在来線の乗換は現敦賀駅での連絡通路乗換となっている。

市民との意見交換

平成28年11月3日(木) 於:夢みらい館・さばえ

鯖江市男女共同参画地域推進委員会主催で市議会議員との懇談会が行われました。

市民40名、高校生13名、市議会議員11名が6グループに分かれワークショップを開催、議題には女性議員を増やすためにはと、若者が住みたくなる街づくりについて、話し合い活発な意見などが出されました。

